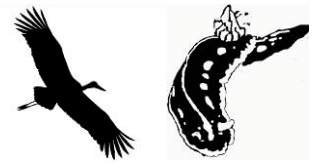


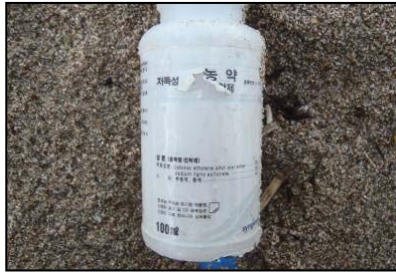
自然と生き物の色々な話



～海岸に流れ着く物～

みなさんこんにちは。私が働いている竹野自然保護官事務所の側の海では、毎日のように冬の大波が押し寄せてきています。浜には大波によってさまざまな物が流れ着きます。今回は浜に流れ着く物「漂着物」の話をしてします。

漂着物をおおざっぱに分類すると草木や竹等の陸上の植物、医療ゴミ、家庭ゴミ、漁の道具、海中の動物、海藻の6つになります。今回はこの中の4つを選んでお話します。



医療ゴミ

医療ゴミは注射針や薬瓶、薬のカプセルなど、病院から出てくるゴミです。医療ゴミについては法律で捨て方が厳しく決まっていますが、日本や外国で不法に海に捨てられたものが流れ着いてきます。もし医療ゴミを見つけても危険なので触らないようにしてください。(瓶の中に薬品が残っていたり、注射針でケガをする可能性があるため)



家庭ゴミ

家庭ゴミは家から出るようなゴミがそのまま海岸に流れ着いたものです。ペットボトルや空き缶、食べ物のビニールパッケージ等が主な漂着物です。外国からの漂着物が混ざっていることも多く、漂着物のバーコードとパッケージの文字を調べてみると、どの国で作られた物であるかが分かります。海岸で捨てられた物、忘れられた物以外にも、川で捨てられた物、忘れられた物も川から海へに流れて漂着物になります。



漁の道具

漁師さんが使う網や縄や浮き等です。海上でうっかり落としてしまったり、定置網にセットしたにもかかわらず流されてしまった物が海岸に流れ着きます。イカ釣船の大きな電球や、人の頭ほどもある浮き、魚の出荷箱として使われる大きな発泡スチロール、網やそれを繋ぐロープなどが流れ着きます。



海中の動物

海中の動物や、その死体が打ち上げられたものです。今まで流れ着いた物の例としては、サケガシラやリュウグウノツカイといった深海魚や、タイマイ等のウミガメ、クジラやイルカ、アザラシの死体も打ち上がったことがあります。

自然の漂着物とはもかく、人工の漂着物については海岸に無いことが一番です。皆さんの住んでいる市や町、地区や町内会などでも春頃から海岸のゴミ拾いが行われていると思いますのでぜひ参加してください。